



平成 29年 5月 19 日

各 位

会 社 名 五洋インテックス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 大脇 功嗣
(J A S D A Q ・ コード 7 5 1 9)
問 合 せ 先
役 職 ・ 氏 名 取締役管理部長 小林 光博
電 話 0568-76-1050

先端医療検査に関わるサービス事業への参入及び先端医療検査に関わるサービス事業の
子会社設立に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、新規事業（先端医療検査に関わるサービス事業）への参入及び先端医療検査に関わるサービス事業の子会社の設立を決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 背景及び目的

遺伝子検査は様々な先端医療に貢献をしており、遺伝子を用いた検査を活用することによって生活習慣改善等により病気にならないように予防していくことが可能になります。

当社が行う先端医療検査に関わるサービス事業とは、健康予防医療的サービス¹及び遺伝子検査²の事務代行サービスであります。

当社の主力事業はカーテン事業であります。また、昨年 6 月に不動産関連システム事業を行う株式会社レックアイを子会社化し、同社の事業は順調に推移しておりますが、さらにもう一つの事業の柱となる新規事業を模索しておりました。平成 27 年頃、当社社外取締役である名井博明氏（一般社団法人 日本介護事業連合会（会長：愛知和男、常任理事：名井博明、設立年月：平成 26 年 12 月、住所：東京都港区虎ノ門一丁目 13 番 4 号、ホームページ：<http://www.kaijiren.com/>）より、知人で一般財団日本価値協創機構（会長：愛知和男、住所：東京都千代田区九段北一丁目 15 番 14 号、ホームページ：<http://jcsv.or.jp/>）の鈴木壮治理事長（現ロックハワード証券株式会社 取締役会長）

¹具体的には、被検者からの申込受付・カウンセリング予約受付・採血の予約受付、各種申込書面の取得、代金の授受及びサプリメントの販売等の事務作業を行います。（これらは医療行為には該当しません。）

²具体的には、被検者からの申込受付・カウンセリング予約受付・採血の予約受付、各種申込書面の取得及び代金の授受等の事務作業を行います。（これらは医療行為には該当しません。）

をご紹介頂きました。同財団では企業間の事業提携の促進支援を行われており、当社は同氏より数社の企業及び事業の紹介をいただきました。

平成 27 年頃、名井取締役から遺伝子検査等による健康予防医療に取り組まれている外山雅章氏（医学博士、以下「外山氏」）を紹介されました。その後、外山氏が代表取締役であります株式会社ヘルスクエストの石井浩之取締役より当社の小林光博取締役が、RNA 解析による予防医療についてレクチャーを受けてきました。

日本では、超高齢化社会（総人口に対して 65 歳以上の高齢者人口が占める割合を高齢化率といいます。世界保健機構（WHO）や国連の定義によりますと、高齢化率が 7%を超えた社会を「高齢化社会」、14%を超えた社会を「高齢社会」、21%を超えた社会を「超高齢社会」といいます。）を迎えております。平均寿命が延びてきているためでありますが、男女ともに平均寿命の伸び率に比べ、健康寿命の伸び率は小さくなっております。（参照：厚生科学審議会（健康日本 21（第二次）推進専門委員会）（2014 年））この健康寿命を延ばすために、病気の一步手前の状態である「未病」の段階で対策を講じ、病気予防に努めることが大切となっています。医療の現場においても「病気の治療」から「病気の予防」へ考え方がシフトしてきております。今後、検査など病気の予防診断と、エビデンスに基づくサプリメント開発により、医療機関やそれに関連する機関がそれを処方、販売し、広く普及していく仕組みが期待されていることから、その予防診断をする上で診断の元となる基本情報を提供する遺伝子検査による先端医療は今後ますます拡大してゆく医療であると判断いたしました。

外山氏 の全面的なご支援・ご協力のもと健康予防医療的サービス（なお、本サービス体制の構築に約 9 か月の準備期間が必要と考えており、開始時期は平成 30 年 4 月を予定しております。これは主にサプリメント販売網の構築（医師及び一般消費者に対する紹介・告知期間）期間であります。）の開始を検討しております。

具体的には、被検者からの申込受付・カウンセリング予約受付・採血の予約受付、各種申込書面の取得、代金の授受及びサプリメントの販売等の事務作業を行います。（これらは医療行為には該当しません。）

また、平成 28 年 12 月頃、鈴木壮治氏から花園先端医学研究所（住所：東京都中央区日本橋 2-8-6、代表 榎崎幹雄氏（医学博士、以下「榎崎氏」）、ホームページ：<http://www.hanazono-madm.com/>）の紹介をいただきました。（両氏の関係につきましては、2 年ほど前に鈴木壮治氏が関係する太陽光発電事業を行った際の出資者の一人が榎崎氏であり、そのときからの相識であります。）

同研究所の代表である榎崎氏は、世界の先端医療を日本へ、スピーディーに普及したい強い思いをお持ちで、遺伝子検査に基づくがん治療の研究をはじめ、ガン予防検査の研究、着床前診断検査の研究、予防医療の研究などを行われております。その研究に際し、遺伝子検査のため、イルミナ株式会社（住所：東京都港区芝 5-36-7 三田ベルジュビル 22 階）製のシステムを導入されております。同氏は花園クリニック（住所：広島県福山市花園 1 丁目 3-9、ホームページ：<http://www.hanamk.jp/>）の常勤の院長であります。

当社は、今回の資金調達により、新会社において榎崎氏の全面的なご支援・ご協力のもと、医療行為にあたらぬ、遺伝子検査の事務代行サービスを行います。

具体的には、被検者からの申込受付・カウンセリング予約受付・採血の予約受付、各種申込書面の取得及び代金の授受等の事務作業を行います。（これらは医療行為には該当しません。）

先端医療検査に関わるサービス事業は、これまで当社が行ってまいりましたカーテン事業及び不動産関連システム事業とは、関連性のない事業分野ではありますが、当社はこれら先端医療検査に関わるサービス事業を拡大させて参りたいと思います。

2. 新規事業の趣旨及び概要

(1) 健康予防医療的サービス

健康診断や人間ドック等の検査では「病気か否か」の判断及び医療的見地からのアドバイス等が行われています。

そこで、当社新会社では、予防医療的見地に立ち、潜在的なリスク・遺伝子的状態を踏まえ健康を実現する為のサービスを加え、新たな予防医療的事業を顧問の外山氏の全面的協力のもと健康予防サービスを展開いたします。

具体的には「病気の治療」から「病気の予防」に注目し、「本当に自分に必要な栄養や改善方法は何かを知り、からだの状態を把握する」ことが可能なRNA検査³をもとに、サプリメントの販売を行います。

今回の当社の事業スキームといたしましては、まず、RNA検査を医療機関が行います。（具体的な医療機関の選定につきましては、今後、選定作業を行います。）医療機関がその検査結果を基に生活習慣の改善指導を行う際の一つの方法として、健康増進のサプリ利用の紹介をしていただき、当社はサプリ購入希望者の方に販売を行います。なお、希望する方にはRNA検査が可能な医療機関の紹介も行う予定であり、検査を受けない一般の方に対しても健康増進のサプリメントとして販売してまいります。

新会社設立とともに外山氏が担当顧問（同氏は無報酬を予定しております。被検者からの申込受付・カウンセリング予約受付・採血の予約受付、各種申込書面の取得、代金の授受及びサプリメントの販売等の事務作業が円滑に行えるように、医師としての立場から、指導いたします。）として就任して頂くことの内諾を得ております。なお、本サービス体制の構築に約9か月の準備

³ 遺伝子検査は、一般的な体質を検査するDNA検査と、現在の身体（遺伝子発現状態）を判断する検査のRNA検査があります。RNA検査は、従来行われている体質や先天的疾患発症リスクを診断するDNA配列を対象とした遺伝子検査とは異なり、日々の生活習慣や加齢によって変わる遺伝子発現（RNA発現）を解析することで、現時点での状態やその経時変化を分析・評価しています。また、RNA検査(*)は、部位ごとに選定された遺伝子の発現量を測定し、未病状態における病気の発症リスクを予測評価することが可能で、予防を目的とした検査です。

DNA から必要部分をコピーして作られます。いくつかの種類がありますが、特にメッセンジャーRNA (mRNA) は、細胞内で個々のタンパク質を作るための情報をDNAからコピーした物質です。細胞内では、DNAにより暗号のように格納されている遺伝子の必要な部分を、必要なときに必要な量だけ、このmRNAとしてコピーを作ることにより、必要なタンパク質を作ったり量を調節したりしています。

(*)細胞内のDNAにより暗号のように格納されている遺伝子の必要な部分をmRNAとしてコピーを作るとをいいます。そのmRNAの量を見積もることを発現解析といいます。がん関連遺伝子の発現が高いと、作られるmRNA量が多くなり、そこから作られるタンパク質の量も多くなります。

例えばがん遺伝子検査において、その量が健常者のレベルよりも高くなっている場合、そのような状態になっている細胞や組織がどこかに存在するかもしれないという可能性が高くなります。

学術的には数百のがん関連遺伝子が報告されていますが、そのうちの数十種を選別し、それぞれの遺伝子の発現量を解析しています。その高い発現を示すがん遺伝子の種類や組み合わせによっては、存在する部位の可能性を示すことができる場合があります。

期間が必要と考えており、開始時期は平成 30 年 4 月を予定しております。これは主にサプリメント販売網の構築（医師及び一般消費者に対する紹介・告知期間）期間であります。

（2）遺伝子検査の事務代行サービス

先端医療検査に実績（平成 28 年 9 月～平成 29 年 3 月）のある花園先端医学研究所は現在、妊婦の行う新型出生前診断検査⁴において、被検者からの申込・予約・採血診断所との調整、各種申込書面の取得及び代金の授受等の事務作業を株式会社 C メディカル（住所：東京都中央区日本橋 2-8-6、代表取締役：西岡正城）に委託しております。今回、株式会社 C メディカルとの契約終了（平成 29 年 6 月末まで）に伴い、同社が行っておりました医療行為にはあたらない事務代行業務を平成 29 年 7 月から当社新会社が行うことになりました。新設会社設立後、新設立会社と花園先端医学研究所の間で業務委託契約を締結する予定でございます。当社新会社は、上記事務作業を行うことにより、花園先端医学研究所から被検者 1 人当たり 30,000 円を業務委託料として受取ることにより収益を得る予定でございます。

新会社設立とともに檜崎氏が担当顧問（同氏は無報酬を予定しております。被検者からの申込受付・カウンセリング予約受付・採血の予約受付、各種申込書面の取得及び代金の授受等の事務作業が円滑に行えるように、医師としての立場から、指導いたします。）として就任して頂くことの内諾を得ております。

なお、実際の検査実施につきましては、花園先端医学研究所から株式会社グローバルサポート（英国検査会社への日本の商社であります。）を通じて、英国の Cooper Genomics UK (Genesis Genetics UK) (formally Genesis Genetics)（住所：London Bioscience Innovation Center, 2 Royal College Street, London, NW1 0NH、ホームページ：<http://genesigenetics.org/>）に発注する予定でございます。

（これは、Cooper Genomics UK に対してアカウント（署名権限）を持っているのは檜崎氏ですが、Cooper Genomics UK に対して取引口座があるのは株式会社グローバルサポートであるためです。）

また、株式会社 C メディカルの代表取締役である西岡正城氏は、本件ファイナンシャル・アドバイザーであるロックハワード証券株式会社（住所：東京都中央区日本橋 2-8-6、代表取締役 西岡正城）の代表取締役であります。

遺伝子検査の事務代行サービスを行うに当たってのリスクとして以下の事項が挙げられます。

①特定人物への依存

新会社における新規事業を行うにあたり、医師である檜崎氏は新たな事業モデルの創出において中心的な役割を担い、また、実際の事業の推進においても重要な役割を果たしています。当社は、同氏に過度に依存しない経営体制の構築を目指し、人材の育成・強化に注力していますが、同氏が何らかの理由により業務執行できない事態となった場合には、当社の業績に重大な影響を与える可能性があります。

②遺伝子検査の事務代行サービス事業の事業環境について

⁴ 新型出生前診断検査とは、「母体から採血し、その血液を検査することにより胎児の染色体異常を調べる検査」のことです。新型出生前診断検査という名称自体は日本での通称名であり、母体血清マーカーテストなどの従来の血液による出生前診断と比較して感度、特異度からみる検査自体の精度がきわめて高い為、従来の出生前診断と区別してこのように呼ばれています。

遺伝子検査の実施にあたりましては、診療環境、それを取り巻く社会情勢、法的基盤、安全性、倫理性、社会性等の観点から、さまざまな見解、意見等が議論されている状況であります。

公益社団法人日本産科婦人科学会が平成 25 年 6 月 22 日付「出生前に行われる遺伝学的検査および診断に関する見解」において、学会としての基本的な実施方針等を示しており、検査実施要件として、例えば「高齢妊娠の場合」等を掲げております。

檜崎氏は、上記学会の実施方針等を尊重しながらも、比較的低額な費用で、被検者の年齢制限を設けない点等に独自性があります。

檜崎氏は平成 28 年 9 月新型出生前診断検査開始以来、公益社団法人日本産科婦人科学会等 5 団体の検査の中止を求める声明（「母体血を用いた新しい出生前遺伝学的検査」についての共同声明（平成 28 年 11 月 2 日））や一部マスメディア等から檜崎氏に対して寄せられた各種批判の記事等はありませんが、当検査を中断した事実はありません。

（同共同声明内において、「母体血を用いた出生前遺伝学的検査」施設認定・登録部会での認定を受けた医療機関での採血を求めています。が、花園先端医学研究所は当該認定を受けておりません。）

檜崎氏は花園先端医学研究所ホームページ内（<http://www.hanazono-madm.com/news/15/>）において、「日本産科婦人科学会の指針は、当然のことながらカウンセリング体制も含め大変重要な指針だと理解しております。しかしながら、上述の通り、一方でこの検査を受けたくても受けることができない妊婦様が多く存在する事も大きな問題だと考えております。その為弊社としては、違法性がない限り、協力して頂ける医師の皆様と共にこの検査を提供すべきだと考えております。」からも明らかにおり、檜崎氏は、公益社団法人日本産科婦人科学会の見解を理解し、十分に尊重するとしております。

これは、檜崎氏らが、新型出生前診断検査に内在する倫理性、新型出生前診断検査の意味内容を被検者及びその関係者の十分な理解の必要性等を十分に認識していることを示すものであります。

当社が行う遺伝子検査の事務代行サービス事業は、新型出生前診断検査に関わる事務の受託業務であります。当受託業務は、檜崎氏が花園先端医学研究所で行う新型出生前診断検査が違法ではない以上、何らの法的問題も存しないと考えております。

当社が行う事業は事務代行サービスであります。が、花園先端医学研究所と同一視されるため、一部マスメディア等からの批判は予想されます。しかし、当社としては、適宜、檜崎氏が行う新型出生前診断検査の意義、内容、必要性及び有用性を広く啓蒙することに協力し、檜崎氏を支援する対応を取るべきであると考えております。

受託業務の継続性については、契約履行の問題であり、当社がコントロールできる問題ではありませんが、檜崎氏から業務委託契約期間 5 年及び検査体制の継続をすることの意向の表明いただいておりますので、継続性が遮断される可能性が極めて少ないと思われれます。

ただし、万が一予期せぬ環境の変化等による事業の遅れが生じ、当社グループの業績等への影響を及ぼす可能性があります。

③検査中止について

当事業における、遺伝子検査は外部（イギリスの検査会社）へ委託する形式をとっております。

現在（平成 29 年 5 月 19 日時点）花園先端医学研究所において、新規の申し込みを停止しております。（そのため、現在、検査申込サイトを停止しております。）

これまでは檜崎氏（英国の検査会社にアカウントを持っている）の署名入り申込書に、被検者の署名したものを申込書として英国の検査会社に提出し、検査を受け付けていただいております。

しかし、英国の検査会社が Cooper Surgical, Inc.（住所：95 Corporate Drive Trumbull, CT 06611 USA、ホームページ：<http://www.coopersurgical.com/>）の傘下となった後、検査受付のルールが変更となり『アカウントを持っている医師』、ないし『その医師の医療法人で採血を行った医師』の署名が条件となりました。

檜崎氏は広島県福山市で月～土まで診察を行っており、東京で採血をすることは無理なため、やむを得ず受付を中止いたしております。

また、現在、檜崎氏は、福山での花園クリニックの開業医であり、これは医療法人ではなく東京にクリニックはない状態です。

さらに、これまで採血を依頼していましたクリニック「真健庵」は、月・火の週2日の受付であり（つまり遺伝子検査を行いたくても、肝心の採血について、週2日しか採血をするクリニックがない状態でありました。）兼ねてから採血クリニックを別に変更する計画でありました。

そこで、採血可能日を増やすために、新会社の設立に間に合うように、檜崎氏が自ら新たに採血クリニックを開設しております。（予定所在地：東京都中央区銀座、理事長 檜崎幹雄）

以上の理由により、現在行っている採血クリニックから、新設クリニックへの移行期間については受付を止めている状況でございます。

檜崎氏は、平成29年4月に医療法人を買収し、理事長変更登記申請を完了し、諸手続き後許認可を受け、東京に開設するのは平成29年7月の予定でございます。開設後速やかに新型出生前診断検査の受付を再開する予定でございます。

上記の通り、近日中に再開の予定ではありますが、今後におきましても同様の事態が発生した場合、検査中止を余儀なくされ、当社グループの業績等へ影響を及ぼす可能性があります。

なお、万が一再開ができなかった場合には、現在も継続して英国に検査を依頼している医療機関等と連携をとり、検査ルートを確保する対策を講じてまいります。

また、遺伝子検査は、その有効性と安全性が一定期間にわたって確認された使用実績のため、遺伝子検査そのものによる重篤な副作用が発生するリスクは極めて小さいと考えられます。ただ万一予期せぬ新たな副作用の発生等や事故が発生した場合、検査中止を余儀なくされ、当社グループの業績等へ影響を及ぼす可能性があります。

<ご参考. 1> 檜崎 幹雄 医学博士 経歴

- ・昭和49年3月：大阪医科大学卒業
 - ・その後、聖バルナバ病院、岡山大学医学部附属病院、福山市民病院に勤務
 - ・昭和53年3月：岡山大学医学部大学院博士課程修了
 - ・昭和57年7月：総合病院三愛 院長就任
 - ・昭和57年10月：医療法人紅十字会理事長就任
 - ・平成13年4月：社会福祉法人サンフェニックス設立
 - ・平成19年12月：医療法人貝塚病院副理事長就任
 - ・平成20年1月：医療法人紅十字会理事長辞任
 - ・平成20年2月：花園クリニック勤務
 - ・中国河北医科大学客員教授・天津医科大学客員教授
 - ・平成27年12月：花園クリニックの研究所兼東京分室として花園医学研究所を開設
- 【所属学会】日本透析医学会他
【専門分野】産婦人科、泌尿器科

<ご参考. 2> 外山 雅章 医学博士 経歴

- ・昭和 42 年 3 月：慶応大学医学部卒業
- ・昭和 45 年 6 月：渡米、ニューヨーク大学バッファロー総合病院に於いて一般外科を研修。その後、心臓外科医に変更
- ・昭和 46 年 7 月：カンサス大学メディカルセンターにて一般外科研修に引き続き、胸部外科主任教授
- ・昭和 53 年 7 月：リース教授と共にフロリダ州マイアミに移動し、心臓血管外科のプライベートプラクティスに従事し数多くの小児及び成人患者、約 1,000 名の心臓血管外科手術を執刀。
- ・昭和 58 年 6 月：亀田総合病院の心臓血管外科部長として着任。
着任以来、中国北京大学医学部・蘇州大学病院に出張手術や講演を行う。

また、米国の学会には年 2 回ほど出席し、機会があると手術にも参加している。海外での活動を積極的に行うことで、常に手術を現場で実践し、日本の医療レベルアップと後進育成に力を注いでいる。

【所属学会】 日本胸部外科学会

日本心臓血管外科学会

日本外科学会

日本循環器学会

【専門分野】 心臓血管疾患の外科治療

虚血性心疾患（狭心症・心筋梗塞）

弁膜症

閉塞性肥大型心筋症

大動脈疾患

不整脈の外科治療

3. 花園先端医学研究所における遺伝子検査の事務代行サービスの現状について

当事業における、遺伝子検査は外部（イギリスの検査会社）へ委託する形式をとっております。現在（平成 29 年 5 月 19 日時点）花園先端医学研究所において、新規の申し込みを停止しております。（そのため、現在、検査申込サイトを停止しております。）

これまでは檜崎氏（英国の検査会社にアカウントを持っている）の署名入り申込書に、被検者の署名したものを申込書として英国の検査会社に提出し、検査を受け付けていただいております。

しかし、英国の検査会社が Cooper Surgical, Inc.（住所：95 Corporate Drive Trumbull, CT 06611 USA、ホームページ：<http://www.coopersurgical.com/>）の傘下となった後、検査受付のルールが変更となり『アカウントを持っている医師』、ないし『その医師の医療法人で採血を行った医師』の署名が条件となりました。

檜崎氏は広島県福山市で月～土まで診察を行っており、東京で採血をすることは無理なため、やむを得ず受付を中止いたしております。

また、現在、檜崎氏は、福山での花園クリニックの開業医であり、これは医療法人ではなく東京にクリニックはない状態です。

さらに、これまで採血を依頼していましたクリニック「真健庵」は、月・火の週2日の受付であり（つまり遺伝子検査を行いたくても、肝心な採血について、週二日しか採血をするクリニックがない状態でありました。）兼ねてから採血クリニックを別に変更する計画でありました。

そこで、採血可能日を増やすために、新会社の設立に間に合うように、檜崎氏が自ら新たに採血クリニックを開設いたします。（予定所在地：東京都中央区銀座、理事長 檜崎幹雄）

保健所等開設の許認可を受け、檜崎氏が理事長を務める医療法人が東京にクリニックを開業させ（平成29年7月中を予定しております。）、そこで被検者の方の採血が可能となります。

花園クリニックに、檜崎氏以外の常勤の医師が1人増員されたため、檜崎氏自らが東京のクリニックに勤務が可能になり、加えて東京のクリニックに檜崎氏以外の医師を常駐させる予定であります。（東京のクリニックで看護師の中心となる人材は、花園クリニックから派遣する予定であります。）

この東京のクリニックの採血担当の医師のサインをした申込書であれば、検査会社側の検査受付条件を満たしますので、花園先端医学研究の検査受付を再開するとともに、当社新会社の事務代行サービスも開始いたします。

以上の理由により、現在行っている採血クリニックから、新設クリニックへの移行期間については受付を止めている状況でございます。

檜崎氏は、平成29年4月に医療法人を買収し、理事長変更登記申請を完了し、諸手続き後許認可を受け、東京に開設するのは平成29年7月の予定でございます。開設後速やかに新型出生前診断検査の受付を再開する予定でございます。

4. 新会社の概要

名 称：株式会社花園先端医学研究所（仮称）

設立年月：平成29年7月（予定）

決算期：3月（予定）

代表者候補者：藤林美枝子（現株式会社Cメディカル 取締役）

取締役候補者；石井 浩之（現株式会社マスターマインド代表取締役、
株式会社ヘルスクエスト 取締役）

大脇 功嗣（現五洋インテックス株式会社代表取締役、

株式会社イフ代表取締役社長、DSAJapan 株式会社取締役）

小林 光博（現五洋インテックス株式会社 取締役管理部長兼新規事業部長、
株式会社レックアイ取締役、DSAJapan 株式会社取締役）

所 在 地：東京都中央区（予定）

資 本 金：100 百万円（予定）

出資比率：五洋インテックス 100%

事業内容：①健康予防医療的サービス

②遺伝子検査の事務代行サービス

檜崎氏及び外山氏が新会社の顧問として就任する予定であります。

投資予定額：180 百万円

5. スケジュール

平成29年7月 新会社設立（予定）

6. 中期経営計画数値目標

（単位：千円）

	第1期 (平成30年3月期)	第2期 (平成31年3月期)	第3期 (平成32年3月期)
健康予防医療的 サービス	0	141,000	231,000
遺伝子検査の 事務代行サービス 売上高	70,833	141,666	155,000
	70,833	282,666	386,000
営業利益	3,276	70,242	91,976
経常利益	2,676	69,442	91,176

7. 今後の見通し

本件による平成29年3月期の当社連結業績に与える影響は軽微と見込んでおります。

以上

(参考) 当期連結業績予想 (平成29年5月12日公表分) 及び前期連結実績 (単位: 百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する連結当期純利益
当期連結業績予想 (平成30年3月期)	2,400	70	55	40
前期連結実績 (平成29年3月期)	2,164	△22	△27	△24

※上記、前期連結実績 (平成29年3月期) に関しましては、未監査であります。

上記に記載した数値目標につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであります。この数値目標には、さまざまな不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの数値と異なる場合がございますので、当該情報のみに依拠して投資等のご判断を行うことは差控えていただきますようお願いいたします。